

夢に向かって生きる



大和北小だより
H31. 1. 21

三構の教え

坂本竜馬が若い頃、江戸に出て千葉道場へ入門し、この道場で剣を学び、心を学びました。その坂本竜馬の先生が千葉周作という人です。北辰一刀流という流派を担い、多くの門生たちに剣の心を教えました。その教えの中に「三構」というのがあります。

『「物構え」：物事を成すために必要なものを構えなさい。』

学習に必要なものは教科書、鉛筆、ノートなど。スポーツに必要なものはシューズ、ジャージ、飲み物など。何かをする時に、まず自分に必要なことをするためには、自分の身の回りを整えることが大切です。

『「身構え」：その時に必要な姿勢をとりなさい。』

学習なら椅子に座って正しい姿勢。スポーツならその運動にとって無駄のない姿勢。何かをする時に、もっとも効率のよい姿勢をとることが大切です。

『「心構え」：それに向かう心を整えなさい。』

「がんばるぞ。」「やりきりたい。」このような気持ちを持ち、目標に向かってそれをやり抜こうとする強い心をもつことが大切です。

新しい年が始まりました。「三構」をもって子どもたちが取り組めるように支援していきます。



スキー教室

1月11日、ひるがのスキー場において、高学年（4～6年）のスキー教室がありました。雪不足が心配されましたが、当日はクワッドリフトも動いており、全面滑走とまではいきませんが、十分に練習することができました。



4年生は初めての参加です。初心者も多くいました。そんな初心者子ども達は、スキーウェアに身を包み、まずは自分に合ったブーツをはいて歩く練習。次に片足に板をつけて歩き、その次に両足に板をつけて歩く練習をしました。少しずつ物構えができる中、ひざの使い方、エッジの立て方など身構えに関わる部分を学びました。つらい練習もあったかと思いますが、子どもたちは、『滑りたい』『上手になりたい』という強い思い（心構え）があったことで、どんどん上達していきました。

こうした子どもたちの上達があったのも、保護者の方7名、地域のボランティアの方12名の方の、熱く、優しいご指導があったからです。

本当にありがとうございました。



3年生の活躍 1、2、3年仲よし遊び

高学年がスキー教室だった11日は、3年生が最上級生です。かねてから3年生の子ども達は「6年生がしてくれている全校遊びのようなことをしたい。」「1、2年生も、自分たちも楽しめるようにしたい。」



という願いをもち、『1、2、3年生なかよし遊び』を企画していました。

遊びの内容や遊ぶ場所は3年生が決め、遊びの進行も3年生が進めました。いつもは6年生たち高学年のお世話になっている3年生ですが、今日はたくましいリーダーとなっていました。

実は3年生の活躍はそれだけではありません。「1～3年生のあいさつが元気になるといい。」「1階のトイレのスリッパがいつもきれいに並んでいるようにしたい。」といった願いを持っており、1階（1～3年生の教室があります）のリーダーとしての動きをしていました。

3年生の子ども達は、学校へ登校すると1、2年生教室をのぞいて「おはようございます。」とあいさつをしています。また、トイレのスリッパの様子を1、2年生に伝え、「そろえましょう。」と呼びかけをしたり、トイレに掲示物を置いたりしていました。

まさに、【1階のリーダー】という心構えができています。先日、廊下ですれ違った時に、「こんにちは。」と大きな声であいさつをしてくれたのが、3年生のKさんとRさんでした。

2人に「あいさつが素晴らしいね。」と声をかけると、「はい、ぼくたちは1階のリーダーですから。」と答えてくれました。

自分に、活動の原動力となる心構えがあることが大切であることを感じた出来事でした。

書き初め会



1月16日（水）に書き初め会を行いました。昨年度までの書き初め会との違いは、自分で決めた文字を書くということです。今年の目標、がんばりたいことを短い言葉にし、1、2年生は硬筆で、3年生以上は毛筆で書きました。

1、2年生は、「進んであいさつ」「さんすうをがんばる」などのように「すすんで〇〇をする」「〇〇をがんばる」という目標を書いていました。中には『家族を幸せにする』と書いた子もいました。

3～6年生は、四字熟語や四文字の言葉にしている子が多く、「一生懸命」「有言実行」「やりきる」「明るい心」などや、今年にちなんで「猪突猛進」と書いている子もいました。

どの子も**身構えを大切に書いて**ので、選んだ言葉だけでなく文字も個性あふれたものになりました。